

H29 年度 事業報告書

社会福祉法人くすの樹会

7

■くすの樹会 法人本部

理 念

私たちは、社会に資する者として、常に考え続け、行動し続ける努力をします。

基本方針

私たちは、私たちが営む施設が社会資源のひとつとして地域に開かれ、地域に暮らす人に愛され、自ら育ち、また育てられることを目指します。

実施事業

第2種社会福祉事業
保育所の経営
一時預かり事業の経営

公益事業
企業主導型保育所の経営（社会福祉法人いずみ福祉会経営施設の受託運営）

平成 29 年度事業計画の取組重点項目達成状況

- ① 経営新体制での円滑な法人、施設運営のための内部制度の見直し
新制度に基づいて、役員会と評議員会の役割を明確にしたうえで役員会、評議員会を行った。
 - ・ 定期役員会を四半期ごと年 4 回開催し、緊急の事案がある場合は別途招集した。
 - ・ 定期評議員会を年 3 回とし、緊急の事案がある場合には別途招集を行った。
 - ・ 次年度中に運営協議会を開催するため、候補者の選出準備に入った。
- ② 法人内の施設間での活発な人材、技術交流による全体の保育力向上
 - ・ 本年度は飯塚地区の職員を横浜地区へ派遣を保育・栄養部門の指導の為、複数回行った。
 - ・ 保育現場の為の ICT ツールについては全園同時に導入した。導入後は現場での利用については現場の意見が最優先されるべきであるため、その管理を法人本部から各施設に移行した。
結果、現場の様式等についても職員自らがより良く改良する風土のあるあじさい保育園において、若い職員を中心に利用にあたって技術的な拡散が行われ、職員間で活発な利用と意見交換が促された。ICT のシステム業者への相互連絡も施設で主体的に行われていた。
一方で、横浜地区においては、新たな IT システムの利用に対する抵抗感や、使いにくい、現在の紙ベースの様式と異なるという理由であまり使用されず、変更に必要な業者への連絡についても行われていなかった。業務効率化以前に、よりよい仕事の為に自らを変化させる力、職員が主体性を持つ風土づくりの課題が浮き彫りになった。
- ③ 「施設主義」から「法人主義」へ、職員の所属意識の移行の推進
 - ・ 地区内の施設間で毎年数名の異動のある飯塚地区においては、所属施設に愛着を持ちながらも同法人内の施設に対しても仲間であるという意識が伺える。鯉田保育園民営化から 9 年の間に、勤務者のほとんどがあじさい保育園での勤務経験を経て、両施設の特に中堅以上の職員はお互いの顔が分かる関係にある為と思われる。飯塚地区の

施設から横浜地区への指導者派遣についても園全体で協力しながら職員を送り出していた。

・横浜地区においては、特に本園の保育部門で縄張り意識が強く、本年度は特に同施設内においても、他学年の動向についてもあまりお互いに把握しておらず、クラスごとに隔たれていた。分園についても、人員配置が厳しい折や技術指導の為に本園からの応援を派遣していたが、その目的が理解されておらず、本園内の職員間で応援に派遣されることへの不満が出ており、分園の職員に直接不満をぶつける事象が見られた。コミュニケーションの圧倒的な不足から法人の意向と職員の気持ちが乖離し、その反発から逆行するような行動も見られた。

④ 職員のキャリアパス、保育士業務の分野化、認定制度と給与体系の連動した人材育成システムの構築

・ライン職、技術職に分けてキャリアパスを構成し、中堅職員の処遇改善のために処遇改善Ⅱの給付を受け、支給を開始した。同時に俸給の等級表においても各号に必要な要件について明確化した。

一方で、処遇改善Ⅱについては利用者数で支給金額が確定され、すべて使い切らなければならないという行政からの縛りがあったため、中堅職員が多い施設では足りず、中堅職員が少なく新任者が多い施設では中堅のみでは支給しきれず、本来は対象にならない職員にも支給せざるを得なくなる等、法人内での不公平を招き、概念の一貫した支給が行えず、職員間でも不満の声が上がった。

・人事考課制度については課題の洗い出しまでを完了し第一段階を完了した。次年度冬期に合わせて項目を具体化し、新しい制度を試験導入する。これについても運用をしながら職員の意見を取り入れつつ随時改定していく。

⑤ 公益活動の展開

飯塚地区 ・あじさい保育園およびつどいの広場飯塚で継続して「ほっとルーム」を実施した

・福岡ライフレスキューについて、飯塚地区地域連絡協議会へ参加した
・各施設において、学生及び資格認定のための実習の引き受けを行った

横浜地区 ・銀杏保育園胡桃館において、地域行事の際に支援室の開放を行った
・今後の施設開放を伴う活動については、子育てや栄養関係を中心に現在模索中である。
・銀杏保育園において外政の実習受け入れを行った。

花梨保育園受託運営について

当初の予定では、現場に関するものは、くすの樹会で受託する予定であったが、先方の申し出により、事務職員と一部の現場職員は先方の直接雇用となった。

このため、当年度は、当法人から移動した職員の雇用に係る直接の経費のみをいずみ福祉会より得て、支払いに充てたため、当期末の残高が零となった。軽微であった受託に関わる事務業務については先方の事務職員ではなく、くすの樹会本部の職務として行った。

法人本部事務局

法人本部事務局は、法人内の全ての事務実務を掌握するため、法人本部事務局に在籍する職員と、各施設において一部事務教務を担当する施設長、今季新たに配置した銀杏保育園の施設事務員を含めて業務管理を行った。

今季から業務分担を明確にし、事務職員の配置がない飯塚地区の請求事務および現金管理に関しては各施設長が行い、それ以外の会計作業は本部事務局で行った。横浜

の請求事務については多くある助成金ごとに行政の担当課と請求時期が異なり、また書類も煩雑である為、新任の事務職員には高負担となると判断したため、会計業務と現金管理以外の実務については、引き続き法人本部で負担した。各施設の監査対応も会計、管理部門については法人本部で行った。横浜地区の事務職員のOJTは同施設に出向中の本部事務局員が担当した。本年度は事務業務の業務分析を行い、本来施設の事務業務である部分と本部業務である部分を明確に分けた。今後は事務職員の知識・技術習得の度合いを見計らいながら現場での業務の移行を段階的に進める。

施設事務員を増員した為、実務業務の本部への集中化は解消されつつある。ただし、現時点で会計に携わっているのは本部事務局と事務職員のみであり、試算書類から経営の状態を把握することが現場の保育士から施設長になった職員にとって困難である。しかし、活動が資金に直接影響する業態、方式であることから、各施設の職員一人一人がより高いレベルで主体的に自己実現できるようなダイナミックな活動の為には、将来的には現場にいる事業所の長に権限が置かれるべきであり、予算を範囲内で納めるだけの管理能力ではなく、予算自体をコントロールする能力とバランス感覚の習得が必要である。

■あじさい保育園

平成29年度 あじさい保育園事業報告書

1、方針

法人の理念を基に「ひとりひとりを大切にした保育」を目標に全職員で取り組んでいる。今の保育形式に移行して10年が経ち、今年度は公開保育という大きな取り組みを行うことになった。子どもの入所については年度当初より定員を超しての入所があった。年度途中の職員の退職等や異動、応援が目立ち、職員の配置には配慮を要した。また、職員の退職に伴い、新規職員の教育に時間を要しているために、在籍職員の力が求められた。公開保育を機にまとまってきているように思える。

職員を育てる、育てられるが、少しずつではあるが実を結んでいる。

2、実施事業

- | | |
|----------|--|
| ① 事業年度期間 | 平成29年4月1日から、平成30年3月31日 |
| ② 入所児童数 | 平成29年4月1日から、平成30年3月31日
年間延べ人数 2023名 (別紙参照) |
| ③ 開所時間 | 午前7時から午後7時まで実施 |
| ④ 保育時間 | 午前9時から午後5時30分 |
| ⑤ 保育事業 | 一時預り事業 (自主事業)
延長保育
休日保育 (利用者が増加)
世代間交流事業・交流地域 |

3、職員体制

今年度は年度当初、児童の定員を超える職員体制であった。年度途中の退職と法人内での職員の異動や応援が重なり、一時的に保育・調理の職員が不足する状態となり、休日保育時に鯉田保育園の調理職員に応援を依頼すること、職員の配置換え、短時間勤務の職員の勤務時間を増やすことで保育園全体の安定を補って行った。

また、今年度は1歳児クラスの入所が多く、職員配置には配慮を要した。

常勤職員が8時間勤務となり、非常勤勤務の職員の負担が増加したように思えた。

今年度も若手をチーフにすることで、自分より年上の職員に、やってもらわなければならない業務等を説明すること、指導する上での苦労もたくさん経験させることとなった、それにクラス内での伝達やコミュニケーションの取り方にも、工夫が必要となり少しずつではあるが若い職員が育ってきている。

当園の場合、入所する児童の数が多く、ひとり一人の求める力も必要とするが、連携することで力を発揮される部分も多かった。園内研修等を含め、自己研鑽ができる環境を整え、その職員の教育に今後力を入れたいと思う。

4. 保育内容

担当制保育を始め、10年目となり、平成29年12月1日に公開保育をおこなうことになり、年度初めからこの日を迎えるために、いろいろな準備を全職員で行なった。今年度は新人保育士2名を含め、4名の新しい職員が増えたことで保育のマニュアルの再確認を行った。

鯉田保育園の高橋施設長の九州大会、全国大会での発表に必要な写真等の制作、構成を一緒に行い、改めて全職員に、あじさい保育園の歴史を知らせ、担当制保育に行きついたことを知らせる、機会を持つことができた。

公開保育には41名の参加があり、この日は全職員が緊張しながらも、連携のとれた保育ができていた。保育所保育指針が改定され、次年度から施行されるため、園内研修を行い、理解をはかっていった。

未満児クラスから、毎日の生活の中に、特にわらべうたを毎日うたってくれること、絵本の読み聞かせ、音楽リズムなどいろいろな取組が、以上児になると課業として入っていくがどれもスムーズに行えている。剣舞については懂れている姿があり、卒園前の発表の時には年中児クラスが食い入るような目がある。やりたいという気持ちがあるので理解も早く、楽しんでやっている姿がある。

体力の向上に向けては、梅ちぎりや久住登山を経験するまでに、たくさん歩いているようだが、もっと低年齢児クラスから体力作りを兼ねて散歩に出かけていく必要がある。

食育については、今年度はみそ作りが定着して2か月に1回の割合で作る事が出来た。しかし、各クラスのクッキングが少なかったのが残念だった。

栽培保育については、特にサツマイモの収穫には職員の努力で、昨年よりはたくさん収穫することが出来たが、その後の手入れがうまくいかない部分もあり、今後やらなければならない課題が残った。

5. その他の重要項目

- ・ 幼保連携型認定子ども園になるための準備を行っているが市役所等での事前協議に至らなかった。
- ・ 本年度から全常勤の職員が実働8時間になり、年次休暇の消化に工夫が必要だった。
- ・ 短時間勤務職員の中で就業時間を増加する職員が増え、働こうとする意識が出てきた。子連れ出勤の職員が増加、また若い職員との連携も取れ、園内の雰囲気明るくなり活気ができてきたので、継続できるよう努めたい。
- ・ 職員、特に保育士の雇用確保と退職の防止を考える。

あじさい保育園 平成29年度 年間行事執行表

4月	1 (土) 9 (木) 15 (土)	入園式 園児健康診断 クラス懇談会
5月	13 (土) 26 (金)	親子遠足(雨天の為 鯉田つどいの広場) 芋苗植え(ぶどうグループ)
6月	4 (日) 6 (火) 14 (水) 20 (火)	運動会(伊規須小学校) 梅ちぎり(ぶどうグループ) 園児歯科健診 芋苗植え(さくらんぼ組・りんご・ばななグループ)
7月	1 (土) 7 (金) 14 (金) ~ 15 (土) 25 (火)	つどいの広場誕生祭り参加(ぶどうグループ) そうめん会 お泊まり保育(鯉田つどいの広場) ぶどうグループ 保健師巡回相談(1回目)
8月	1 (火) 3 (木) ・ 4 (金) 4 (金) 8 (金) 19 (土) 23 (水) ~ 25 (金)	園外保育(絵本ミュージアム) ぶどうグループスイミー組 二瀬中学校職場体験学習 園外保育(絵本ミュージアム) ぶどうグループエルマー組 園外保育(絵本ミュージアム) ぶどうグループカミイ組 タベの集い 教職員職場体験(筑豊教育事務所) 飯塚第一中学校職場体験学習
9月	3 (日) 22 (金)	古代まつり(ぶどうグループ) 軽費老人ホーム訪問(ぶどうグループ)
10月	4 (水) 7 (土) 11 (水) 12 (木) 12 (木) 15 (土) 18 (水) ~ 20 (金) 19 (木) 25 (水) ~ 27 (金) 31 (火)	園児歯科健診 赤い羽根共同募金 お芋掘り(吉北) ばなな・ぶどうグループ お芋掘り(さくらんぼ組・りんごグループ) 園児健康診断 二瀬地区敬老会参加(ぶどうグループ) 久住登山(ぶどうグループスイミー組) 幼年消防祭り(ばななグループ) 久住登山(ぶどうグループカミイ組) かぼちゃまつり(たてわりグループ)
11月	1 (火) ~ 30 (水) 1 (水) ~ 3 (金) 3 (金) 6 (月) 10 (金) 11 (土) 15 (火) 22 (水)	保育参加 久住登山(ぶどうグループエルマー組) ここの池祭参加(ぶどうグループ) 鯉田つどいの広場(消防体験) ぶどうグループ 焼き芋パーティー 二瀬公民館祭参加(ぶどうグループ) 七五三参拝 片小フェスタ(ぶどうグループ)
12月	1 (金) 16 (土) 22 (金)	公開保育 おもちゃつき お楽しみ会
1月	11 (木) 16 (火)	陶芸(ぶどうグループ) 保健師巡回相談(2回目)
2月	2 (金) 17 (土)	豆まき 生活発表会(コスモスコモン中ホール)
3月	2 (金) 3 (土) 7 (水) 10 (土) 20 (火) 24 (土)	観劇会 剣舞発表会(ぶどうグループ) 軽費老人ホーム訪問(ばななグループ) クリーンキャンペーン(ぶどうグループ) お別れ会 卒園式

*誕生会・・・毎月

*体操教室・・・月曜日(年間24回) ばなな・ぶどうグループ 後半よりりんごグループ参加

*音楽リズム・・・月曜日(年間36回) いちご・すもも・れもん・さくらんぼ組参加

*スイミング・・・ばななグループ6回・ぶどうグループ6回

*読み聞かせ・・・年間6回

*わらべうた・・・年間6回

*剣舞・・・ぶどうグループ

*絵本の貸し出し・・・年間24回 りんご・ばなな・ぶどうグループ

*経費老人ホーム訪問 年間 2回

*デイサービスいずみ苑訪問 年間11回

平成29年度 各月年齢別入所児童数 あじさい保育園

()広域
全人数

年令 日付	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
平成29年4月1日	12	37	(1) 26	32	33	29	(1) 169
平成29年5月1日	13	(1) 37	(1) 26	33	(1) 32	29	(3) 170
平成29年6月1日	13	(1) 37	(1) 26	33	(1) 32	29	(3) 170
平成29年7月1日	13	(1) 37	(1) 26	33	(1) 32	29	(3) 170
平成29年8月1日	13	(1) 37	(1) 26	33	(1) 31	28	(3) 168
平成29年9月1日	13	(1) 37	(1) 26	33	(1) 31	28	(3) 168
平成29年10月1日	14	(1) 37	(1) 26	33	(1) 31	28	(3) 169
平成29年11月1日	13	(1) 37	(1) 26	33	(1) 31	28	(3) 168
平成29年12月1日	13	(1) 36	(1) 26	33	(1) 31	28	(3) 167
平成30年1月1日	13	(1) 36	(1) 26	33	(1) 31	28	(3) 167
平成30年2月1日	14	(1) 36	(1) 26	33	(1) 31	28	(3) 168
平成30年3月1日	15	(1) 36	(1) 26	(1) 33	(1) 31	28	(4) 169

H29年度 合計	0	(11)	(12)	(1)	(11)	0	(35)
	159	440	312	395	377	340	2,023

(平成29年度)

延長保育利用状況表

あじさい保育園

月 \ 時間	6:01～ 6:30	6:31～ 7:00	7:01～
4月	159	41	0
5月	178	41	0
6月	245	65	2
7月	222	63	7
8月	213	48	1
9月	207	48	0
10月	235	76	9
11月	202	42	3
12月	254	48	0
1月	178	57	1
2月	194	77	3
3月	224	72	4
H29年度合計	2,511	678	30

(平成29年度)

延長保育利用状況表

あじさい保育園

月 \ 時間	6:01～ 6:30	6:31～ 7:00	7:01～
4月	159	41	0
5月	178	41	0
6月	245	65	2
7月	222	63	7
8月	213	48	1
9月	207	48	0
10月	235	76	9
11月	202	42	3
12月	254	48	0
1月	178	57	1
2月	194	77	3
3月	224	72	4
H29年度合計	2,511	678	30

(平成29年度)

(市内)

休日保育利用表況表

あじさい保育園

年.月	市内						合計
	1日			半日			
	園児	園児外	計	園児	園児外	計	
H29. 4	15	12	27	0	1	1	28
5	33	13	46	0	0	0	46
6	11	6	17	0	0	0	17
7	31	10	41	0	1	1	42
8	24	13	37	0	1	1	38
9	26	11	37	0	3	3	40
10	25	5	30	0	0	0	30
11	35	14	49	0	0	0	49
12	27	15	42	0	0	0	42
H30. 1	18	11	29	0	0	0	29
2	21	13	34	0	0	0	34
3	22	8	30	0	0	0	30
合計	288	131	419	0	6	6	425

(平成29年度)

(市外)

休日保育利用表況表

あじさい保育園

年.月	1日	半日	合計
H29. 4	0	0	0
5	0	0	0
6	0	0	0
7	0	0	0
8	0	0	0
9	0	0	0
10	0	0	0
11	0	0	0
12	0	0	0
H30. 1	0	0	0
2	0	0	0
3	0	0	0
合計	0	0	0

(平成29年度)

一時保育利用状況表 (市内)

あじさい保育園 (人)

年.月	飯塚市(1日)	飯塚市(半日)	小計
H29. 4	12	0	12
5	0	1	1
6	0	0	0
7	1	0	1
8	1	0	1
9	0	1	1
10	0	0	0
11	0	0	0
12	0	0	0
H30. 1	2	0	2
2	0	1	1
3	2	0	2
合計	18	3	21

(平成29年度)

一時保育利用状況表 (市外)

あじさい保育園 (人)

年.月	飯塚市(1日)	飯塚市(半日)	小計
H28. 4	0	0	0
5	0	0	0
6	0	0	0
7	0	0	0
8	0	0	0
9	0	2	2
10	0	0	0
11	0	0	0
12	0	2	2
H29. 1	0	0	0
2	0	1	1
3	0	0	0
合計	0	5	5

平成29年度研修報告書

あじさい保育園 (H29.4.1-H30.3.31)

[illegible]

■ 鯰田保育園

H29年度 鯉田保育園

- ・事業報告案
- ・年間年間行事執行表
- ・研修事業報告書
- ・一時保育利用状況年間実績表
- ・延長保育利用状況年間実績表
- ・年齢別入所児童数

平成29年度 鯉田保育園事業報告

1. 方針

一人一人を大切にしたい保育を念頭に置き、育児担当制に取り組んでいき、保育制度が変わっていても、子どもたちの最善の利益を優先にしながらの保育をすることができた。子ども個々の発達についても、クラス内の共通理解が重要になってくるのだが、短時間職員の比率が高くなっている中、勤務日数や時間の関係から話し合いが十分にできず、連絡・伝達で進んでいるように思われた。

ふれあい交流会での世代間の交流は、年々高齢となられているということもあり、参加者数の減少がみられるが、子どもたちにとっても楽しい時間となり、また子どもによっては、高齢者の動きや大変さを理解し、一緒に寄り添う姿も見られ、今後も内容を考えつつ継続していきたい事業と考える。

研修については、市内の保育士会の研修や近隣での研修への参加が中心となったが、九州保育三団体研究大会（7月長崎県）、全国保育研究大会（11月兵庫県）のそれぞれの場で「一人ひとりを大切に保育する～保育の質の向上を図る」について、発表の機会をいただき、職員と準備を進めていく中で、くすの樹会の保育の原点に立ち返り、歴史や保育内容の基となる考え方など紐解くことができた。そして内容を職員に園内研修として下ろし、職員全体で共有することができ、同じ方向性で保育を進めていくことのひとつとなった。

2. 実施事業

- | | |
|----------|---|
| ① 事業年度期間 | 平成29年4月1日から平成30年3月31日 |
| ② 入所児童数 | 平成29年4月1日 107名入所から
平成30年3月31日 114名 年間延べ1302名 |
| ③ 開所時間 | 午前7時から午後7時まで実施。 |
| ④ 保育時間 | 午前9時から午後5時30分 |
| ⑤ 保育事業 | <ul style="list-style-type: none">・延長保育：7時以降の利用は少ない。（実績は別紙）・一時預かり事業：自主事業として行う（実績は別紙）・世代間交流事業：自主事業として、年間10回のふれあい交流会を行った。・地域交流：地域のお寺の花祭り、つどいのお祭り、古代祭り、まつり鯉田などに参加した。・休日保育：利用希望がほとんどなく、また、あった場合は、あじさい保育園での利用を勧めたので、利用者無し。 |

3. 職員体制

施設長をはじめに、保育士、栄養士の異動、常勤 2 名と派遣職員の短時間勤務 1 名の雇用で、人的環境の変化はあった。常勤職員が、各クラスにほぼ 1 名ということもあり、シフトや仕事の内容において常勤職員への負担が大きくなっていた。その中、常勤職員の急病での期休暇や、姉妹園の立ち上げでの常勤職員、短時間職員の異動も入り、人の配置やシフトの回りが厳しくなっていた。しかし、短時間職員もクラス内の仕事や、行事の担当に積極的に関わろうとする職員の様子も見られるようになった。未満児クラス・以上児クラスの連携を十分にとり、保育士として自分のクラスだけ、自分の働き方の範囲内だけに固執せず、園全体で連携できる体制が必要だと思った。

4. 保育内容

3 歳以上児クラスでは、異動して 2 年目と 1 年目の担任ではあるが、縦割り経験もあり、サポート的に入る短時間職員の配置もできたため、子どもとの関係や日々の流れは安定していた。しかし、担任の急病での期休暇や姉妹園の立ち上げで異動などがあり、職員自身の安定に欠けていたと思う。職員間の連携という点では、自分のクラス以外の活動に関心が薄く、園全体の共通理解や子どもの発達のつながりを考える・保育を見通すという点が不十分だったと思った。

育児担当制については、クラス内の共通理解と、育児マニュアルに沿った行動と遊びの繋がりが十分に理解できていないように感じた。自分で考えて活動できる子どもに育てていくという基本を大切に、職員一人ひとりが自分たちのしている保育が子どもたちの発達のどの部分に関わっているのかという事をしっかりと理解できるよう、また、新保育指針の改定もあり、園内研修を活用しながら職員の資質の向上に繋げていきたいと思う。

鯉田保育園 平成29年度 年間行事執行表

4月	1日(土) 7日(金) 13日(木) 15日(土)	入園式 園児内科健診 園児歯科検診 クラス懇談会・保護者会総会・歓迎遠足(筑豊緑地)
5月	28日(日)	運動会(園庭)
6月	6日(火) 7日(水) 30日(金)	芋苗植え(鯉田) ひまわり・さくらグループ 芋苗植え(園舎裏の畑) こすもすグループ プール開き
7月	1日(土) 5日(水)	つどいの広場誕生祭り参加(さくらグループ) そうめん流し
8月	4日(金)～5日(土)	お泊り保育(鯉田つどいの広場) さくらグループ
9月	1日(金)～30日(土) 3日(日) 8日(金) 15日(金) 21日(木) 27日(水) 30日(土)	保育参加 古代祭り(さくらグループ) スイミングスクール(さくら・ひまわりグループ) スイミングスクール(さくら・ひまわりグループ) スイミングスクール(さくらグループ) スイミングスクール(さくらグループ) 秋祭り
10月	5日(木) 11日(水) 17日(火) 19日(木) 20日(金) 27日(金)	園児歯科検診 園児内科健診 芋掘り(さくら・ひまわりグループ) 幼年消防ふれあい祭り(さくらグループ) 芋掘り(こすもすグループ) 秋の遠足・親子バス遠足(さくらグループ)
11月	6日(月) 8日(水) 12日(日)	つどいの広場防災訓練参加(さくらグループ) 椎の木公園花植え参加(さくらグループ) まつり鯉田(さくらグループ)
12月	2日(土) 16日(土)	生活発表会(サンシャイン鯉田) 餅つき
2月	2日(金) 3日(土)	豆まき 近畿大学九州短期大学オペレッタ観賞(さくらグループ)
3月	7日(水) 8日(木) 9日(金) 24日(日)	お別れ遠足(鯉田つどいの広場) 茶話会(さくらグループ) 観劇会(ふれあいと合同) 卒園式

*避難訓練(防災訓練)・・・毎月

*誕生会・・・毎月

*クッキング保育・・・(2～5歳児クラス 年1回ずつ)

*世代間交流(ふれあい交流会)・・・年間10回

*和太鼓教室・・・毎週火曜日(月4回)

*わらべうた・・・年6回

鮎田保育園 (H29.4.1-H30.3.31)

955,344

平成29年度 各月年齢別入所児童数

鯉田保育園

()広域
全人数

年令 日付	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	全園児数 (広域 含む)	入園者	退園者
平成29年4月1日	4	17	16	21	27	22	107	107		
平成29年5月1日	4	17	16	(1) 20	27	(1) 21	(2) 105	107		
平成29年6月1日	4	17	16	(1) 20	27	(1) 21	(2) 105	107		
平成29年7月1日	6	17	16	(1) 20	27	(1) 21	(2) 107	109		
平成29年8月1日	6	17	17	(1) 20	27	(1) 21	(2) 108	110		
平成29年9月1日	7	18	17	(1) 19	27	(1) 21	(2) 109	111		
平成29年10月1日	7	18	17	(1) 19	27	(2) 20	(3) 108	111		
平成29年11月1日	9	18	17	(1) 19	27	(2) 20	(3) 110	113		
平成29年12月1日	9	18	17	(1) 19	27	(2) 20	(3) 110	113		
平成30年1月1日	9	19	17	(1) 19	27	(2) 20	(3) 111	114		
平成30年2月1日	9	19	17	(1) 19	27	(2) 20	(3) 111	114		
平成30年3月1日	9	19	17	(1) 19	27	(2) 20	(3) 111	114		

29年度 合計	0	0	0	(11)	0	(17)	(28)
	83	214	200	234	324	247	1,302

H29年度 延長保育利用状況 年間実績表

鯉田保育園

	18:00～	18:15～	18:30～	19:00～ (閉園時間以降)
4月	65	40	24	1
5月	80	40	20	0
6月	95	57	30	1
7月	99	61	29	0
8月	83	48	21	0
9月	98	57	22	0
10月	93	53	12	0
11月	74	52	20	1
12月	68	51	27	0
1月	72	46	19	0
2月	68	34	15	0
3月	78	66	29	1
合計	973	605	268	4

H29年度 一時保育利用状況 年間実績表（自主事業） 市内

鯉田保育園

	実施日数	半日	一日	合計
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	0	0	0	0
8月	0	0	0	0
9月	3	2	1	2
10月	0	0	0	0
11月	1	0	1	1
12月	0	0	0	0
1月	0	0	0	0
2月	0	0	0	0
3月	0	0	0	0
合計	2	2	2	3

延べ利用者数 4名

H29年度 一時保育利用状況 年間実績表（自主事業） 市外

鯉田保育園

	実施日数	半日	一日	合計
4月	4	4	0	2
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	1	1	0	0.5
8月	3	3	0	1.5
9月	0	0	0	0
10月	0	0	0	0
11月	0	0	0	0
12月	1	1	0	0.5
1月	0	0	0	0
2月	0	0	0	0
3月	0	0	0	0
合計	2	2	2	4.5

延べ利用者数 9名

■銀杏保育園

平成 29 年度 銀杏保育園事業報告書

1. 基本方針

平成 29 年度基本方針として、銀杏保育園分園である銀杏保育園胡桃館の開園に伴い、両園の一体的な運営と、職員分散と新規職員採用による保育力低下の防止方策を講じ、保育内容の充実と安定を第一の目標として掲げました。

そのため、新年度を迎えるに当たって、年度中途採用職員並びに新規採用職員の法人基幹園であるあじさい保育園での研修、新規卒業採用予定者の銀杏保育園での前年度後半からの学生アルバイト勤務による、銀杏保育園での保育方法の伝達や、職場環境に慣れやすいよう、円滑な就業開始に向けての取り組みを行ってきました。

2. 平成 29 年度重点項目

- ① 第三者評価の再受審を計画していましたが、法人が目指す保育と現場で行われている保育の間に理解の差があることが顕著になってきたために外部講師による基本研修を実施し、園内研修によって保育方法について確認をすることに方向を修正しました。

保育士各人がこれまでに経験してきた保育方法に回帰し、特に銀杏保育園の保育が年度終盤に一斉保育に逆行していた場面が顕著になり、法人が目指す保育が具体的に理解できていなかったことが表面化したため今後の園内研修や現場保育の指導に対する課題が明らかになりました。

- ② 保育の方向性を一致させ、本園・分園間の職員相互の協力関係を構築するために定期的な職員会議の開催を重点項目としましたが、実現せず本園・分園の職員間の連携や協力関係が円滑にいきませんでした。

所属園意識の強さが排除に向かいやすいという問題が明らかになり、職員間の交流のあり方に課題を残しました。

3. 中期目標（平成 29 年 4 月～平成 34 年 3 月）

- ① 園内研修を通して、保育の充実をはかることについては、今後も継続していきます。
- ② 地域との連携については、銀杏保育園については、川上連合町内会の

主任児童員さんとの連携で、地域の子育て家庭の遊び場として交流しているが、年に1回程度であるため、次年度以降地域の子育て家庭の利用がしやすいような情報発信をしていきます。

胡桃館については、地域の行事に子どもたちが出かけることで、園を知っていただくことから始めています。園で行われた郡上踊りの日に地域支援室を初開放しましたが、参加者に認知されるところまではいきませんでした。今後も継続していきます。

- ③ 29年度に、職員の自己研鑽の環境を確保するために年間休日の10日間増を実施し、そのための職員確保を行いました。公休数が増えたことにより、時間シフトや公休による職員同士が話す機会が減少したことによる連携不足と出勤日の業務の効率化の新たな課題が生じました。

4. 実施事業

銀杏保育園保育事業

銀杏保育園胡桃館保育事業

一時預かり事業

5. 事業年度

平成29年4月1日から 平成30年3月31日

6. 定員

銀杏保育園 定員 60名

銀杏保育園胡桃館 定員 44名

7. 職員体制

配置基準		→配置人数
施設長	1名	→ 1名
主任保育士	1名	→ 1名
保育士	13、2名	→ 19名（常勤10+短9名）年度途中で変動
調理員	3名	→ 8名（常勤4名+短4名）年度途中で変動
その他	0名	→ 2名（事務1名：用務1名）

以 上

平成29年度 各月年齢別入所児童数

銀杏保育園

全人数

年令 日付	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	全園児数 (広域 含む)
平成29年4月1日	6	8	12	12	12	11	61	61
平成29年5月1日	6	8	12	12	12	11	61	61
平成29年6月1日	6	8	12	12	12	11	61	63
平成29年7月1日	6	8	12	12	12	11	61	61
平成29年8月1日	6	8	12	12	12	11	61	61
平成29年9月1日	6	8	12	12	12	11	61	61
平成29年10月1日	6	8	12	12	12	11	61	61
平成29年11月1日	6	8	12	12	12	11	61	61
平成29年12月1日	6	8	12	12	12	11	61	61
平成30年1月1日	6	8	12	12	12	11	61	61
平成30年2月1日	6	8	12	12	12	11	61	61
平成30年3月1日	6	8	12	12	12	11	61	61

H29年度 合計	0	0	0	0	0	0	0
	72	96	144	144	144	132	732

平成29年度 各月年齢別入所児童数

銀杏保育園 胡桃館

全人数

年令 日付	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	全園児数 (年長 含む)
平成29年4月1日		(2) 7	7	10	2	1	27	29
平成29年5月1日		(2) 7	7	10	2	1	27	29
平成29年6月1日		(1) 7	7	10	2	1	27	28
平成29年7月1日		(1) 7	7	10	2	1	27	28
平成29年8月1日		(1) 7	7	10	2	1	27	28
平成29年9月1日		(1) 7	7	10	2	1	27	28
平成29年10月1日		(1) 7	7	10	2	1	27	28
平成29年11月1日		(1) 7	7	10	2	1	27	28
平成29年12月1日		(1) 7	7	10	2	1	27	28
平成30年1月1日		(1) 7	7	10	2	1	27	28
平成30年2月1日		(1) 7	7	10	2	1	27	28
平成30年3月1日		(1) 7	7	10	2	1	27	28

H29年度 合計	0	14	0	0	0	0	0
	0	84	84	120	24	12	326

鐵和味塩國 今續次人くすの社全

育児担当制研修	全職員	公団保育、保育について
---------	-----	-------------

社会福祉法人くすの樹会 銀杏保育園

[illegible]

29年度 延長保育利用実績一覧表

銀杏保育園

	朝延長①	朝延長②	朝延長③	夕延長①	夕延長②	夕延長③	夕延長④	夕延長⑤	夕延長⑥	夕延長⑦	合計
4月	42	0	35	4	0	0	0	99	28	2	210
5月	40	0	24	0	0	0	0	109	45	7	225
6月	35	0	22	3	1	0	0	120	60	18	259
7月	33	0	10	8	1	1	1	79	31	4	168
8月	31	0	4	4	0	0	0	83	33	7	162
9月	32	0	1	7	0	0	0	92	31	2	165
10月	29	0	1	6	1	0	0	99	46	15	197
11月	27	0	1	9	1	1	0	105	45	11	200
12月	21	0	0	2	0	0	0	112	54	14	203
1月	24	0	0	0	0	0	0	75	33	2	134
2月	23	0	0	3	3	2	0	99	42	1	173
3月	32	0	0	1	0	0	0	115	57	12	217
合計	369	0	98	47	7	4	1	1187	505	95	2313

29年度 延長保育利用実績一覧表

銀杏保育園 胡桃館

	朝延長①	朝延長②	朝延長③	夕延長①	夕延長②	夕延長③	夕延長④	夕延長⑤	夕延長⑥	夕延長⑦	合計
4月	5	0	0	4	2	0	0	21	0	0	32
5月	0	0	0	3	0	0	0	47	18	6	74
6月	2	0	0	0	0	0	0	39	22	9	72
7月	0	0	0	0	0	0	0	39	19	13	71
8月	0	0	1	0	0	0	0	36	16	6	59
9月	14	0	0	0	0	0	0	38	20	5	77
10月	3	0	0	0	0	0	0	45	22	7	77
11月	0	0	0	0	0	0	0	47	20	9	76
12月	1	0	0	0	0	0	0	63	23	15	102
1月	0	0	0	15	2	0	0	42	16	5	80
2月	2	0	0	5	3	0	0	44	22	10	86
3月	2	0	0	1	0	0	0	63	25	15	106
合計	29	0	1	28	7	0	0	524	223	100	912

平成29年度 一時保育利用実績表

社会福祉法人くすの樹会 銀杏保育園胡桃館

月	非定型保育	緊急保育	リフレッシュ	月合計	区分
4月	0	0	0	0	
5月	0	0	0	0	
6月	11	0	0	11	A
7月	3	0	2	5	A
8月	13	0	0	13	A
9月	14	0	0	14	A
10月	9	0	0	9	A
11月	8	0	0	8	A
12月	6	0	0	6	A
1月	5	0	0	5	A
2月	8	0	0	8	A
3月	10	0	0	10	A
総合計	87	0	2	89	

平成29年度 一時保育利用実績表

社会福祉法人くすの樹会 銀杏保育園

月	非定型保育	緊急保育	リフレッシュ	月合計	区分
4月	0	0	0	0	
5月	0	0	0	0	
6月	1	0	0	1	
7月	2	0	0	2	
8月	11	1	1	13	A
9月	18	1	0	19	A
10月	13	1	1	15	A
11月	12	0	0	12	A
12月	12	0	2	14	A
1月	9	0	1	10	A
2月	8	1	1	10	A
3月	7	0	0	7	A
総合計	93	4	6	103	

■花梨保育園

平成 29 年度 花梨保育園事業報告書

1、 方針

29 年度 11 月より、いずみ福祉会より委託を受けて花梨保育園が開園することになった。新入園児 5 名でスタートしたが、園児が思うように増えず一番多い月で 10 名だった。

市役所にはパンフレットを置いてはいるが、まだ知らない方が多いのが現状である。

保育に関しては、くすの樹会の基本方針に基づき、ひとりひとりを大切にしたい保育の定着や保育、事務、衛生、看護、調理などの共通理解に努めてきた。

また書式の整備などを進めてきた。

実施事業

- ① 事業年度 平成 29 年 11 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日
- ② 入所児童 平成 29 年 4 月 1 日現在 5 名入園から
平成 30 年 3 月 31 日現在 9 名
年間延べ人数
- ③ 開園時間 午前 8 時から午後 7 時まで実施
- ④ 保育時間 午前 8 時から午後 7 時まで
- ⑤ 一時預かり保育
- ⑥ 病後児保育

2、 職員体制

花梨保育園開園にあたり、あじさい保育園より 3 名、鯉田保育園より 2 名の職員が先に異動するようになった。またいずみ福祉会から看護師 1 名、事務員 1 名、計 7 名でスタートした。子どもの人数も増え始めたので、いずみ福祉会からの保育士の職員も加わるようになった。

3、 保育内容

いずみ福祉会の職員も加わり育児担当制を進めることになるが、マニュアルや横についての指導を行ってきたが、私たちが教えるだけではなかなか伝わらない部分もあり、難しい所もあった。

くすの樹会の職員は、人に教えるということでも改めて手順等を見直したり、勉強する良い機会になった。

平成29年度 各月年齢別入園児童数 花梨保育園

	0歳児	1歳児	2歳児
11月1日付	4	0	1
11月27日付	5	0	1
12月1日付	6	0	1
12月18日付	8	0	1
1月6日付	9	0	1
2月1日付	9	0	1
3月1日付	8	0	0
3月26日付	9	0	0

平成29年度 各月年齢別一時保育利用状況表 花梨保育園

	1日	半日
2月	6	0
3月	11	2

29年度行事執行表

11月1日（水）	開園・入園式
12月1日（金）	歯科検診
12月19日～27日	内科健診
12月27日（水）	もちつき見学
2月2日（金）	豆まき
3月2日（金）	ひなまつり見学

※避難訓練（防災訓練）・・・毎月

※尿検査・・・今年度は1回